

学務部よりお知らせします。

新型コロナウイルス感染症について、日本の各地で過去最高の感染者数が報告されており、このような感染再拡大の状況に対して、すでに第3波が到来しているとの認識が示されています。

感染防止に向けた有効な対策がとられない場合、さらに急速な感染拡大に至る恐れがあり、全学生・全教職員が、感染の回避に努めていただくことが重要です。

これから本格的な冬の到来を迎え、インフルエンザとの同時流行も不安視される中、関係者の皆様には、改めて感染拡大防止のための行動の徹底をお願いいたします。

学生の皆さんにおいては以下の事項を再確認し、以前にも増して新型コロナウイルスの感染拡大に繋がらないよう、自覚を持って行動してください。

- (1) 新型コロナウイルス感染拡大防止のための本学の活動制限レベルは、現時点でレベル0ですが、気を緩めることなく感染拡大防止に努めてください。
- (2) 感染予防のために、次の注意事項を必ず守ってください。
 - ① マスクを必ず着用すること。
 - ② 「3密」行動を避け、手洗い・消毒を励行し、感染拡大防止の意識を徹底して持つこと。
 - ③ 感染リスクが高まる「5つの場面」をできるだけ避け、適切な行動をとること。
(添付の「参考1」資料参照)。
 - ④ 体調管理に努め、通学前に検温し、発熱(通常の体温より高い場合)、倦怠感や息苦しさ、味覚・嗅覚に異常を感じる症状など感染症が疑われるものが見られる場合は、まずかかりつけ医に相談し、医師の指示に従うとともに、大学に必ず連絡し、自宅待機すること。
 - ⑤ 新型コロナウイルス感染症に罹患した場合、濃厚接触者となった場合、同居する家族が濃厚接触者となった場合は速やかに大学へ報告すること。また、PCR検査を受けた場合、必ず大学へ連絡すること。

《連絡先》東黒牧キャンパス 教務課 076-483-8002 hk-kyoumu@tuins.ac.jp
呉羽キャンパス 事務室 076-436-2570 kurehac@tuins.ac.jp
(※電話受付 8:30~17:00(土日祝日を除く平日))

※大学からメール等で連絡があった場合は、放置せず速やかに内容をチェックするように心がけてください。

以上

学務部長

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

